

オーディオ実験室収載

モーツアルト盤を聴く(2)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(2)—

1. 始めに

前報(1)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 と ThorensTD124 を使用します。

音源は、新たにモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も、弦楽四重奏です。

Angel AA.9229

モーツアルト 弦楽四重奏曲第 15 番ニ短調

弦楽四重奏曲第 16 番変ホ長調

スメタナ弦楽四重奏団

3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

Angel 盤ということで、EMI、逆相、第 4 時定数 Mid で聴いていきます。

LINN LP-12 の再生では、録音が古いためか、全集ものにカッティングしなおしたためか、盤質はよくありませんし、ナローレンジですが、スメタナ弦楽四重奏団らしい引き締まった演奏の様子は伝わってきます。

ThorenTD124 の再生では、ナローレンジながら勢いのある演奏であることが聴き取れます。

4. まとめ

録音が古いのか、カッティングしなおしたためか、盤質はよくありませんし、ナローレンジながら、ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレイク、Crystal E の導入および ThorenTD124 のターンテーブルシートの交換などの総合的な効果として、何とかスメタナ弦楽四重奏団らしさは伝わってきます。

以上